

2026(令和8)年度

徳島大学医学部保健学科

看 護 学 専 攻

3 年次編入学（第2次）
学生募集要項

令和7年10月

徳島大学医学部保健学科

目 次

徳島大学医学部保健学科 3 年次編入学（第 2 次）学生募集要項

1	受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	4
3	出願資格	4
4	障がいのある入学志願者との事前相談	5
5	出願期間	6
6	出願手続	6
7	入学者選抜の方法	7
8	専攻別試験実施科目等	8
9	配 点	8
10	試験期日及び場所	8
11	合格者発表	8
12	入学案内	8
13	入学試験の成績の開示	10
14	安全保障輸出管理	10

徳島大学医学部保健学科 3 年次編入学（第 2 次）学生募集要項

1. 受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆看護学専攻

国際化、高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

看護への志向性をもち、人間、生命、健康、医療、環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の将来像について明確な目標をもっている人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し、自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき※文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに、論理的な思考によって物事を判断し、課題を解決しようとする人

幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け、国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることのできる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国 語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力
- 地歴・公民—基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力
- 数 学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力
- 理 科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
- 外 国 語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

●入学者選抜の基本方針

編入学入試

個別試験（個人面接）で看護学に関する「思考力・判断力」「知識・教養」および「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」を評価します。英語能力は英語能力試験の成績で評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

- (注) 1 本専攻では、各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんにかかわらず不合格とします。
- 2 「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力

自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき※理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」
における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力
- 理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学
力と科学的に思考する能力
- 外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力
- 地 歴・公 民—将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活
躍するために必要な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

編入学入試

個別試験（個人面接）で「思考力・判断力」「応用力」「知識・教養」「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。英語能力は英語能力試験の成績で評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

（注）「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

探 究 力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

表 現 力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

知識・教養

高等学校等で修得すべき※理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—「化学」、「生物」及び「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法
外国語、国語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力
地 歴・公 民—将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

●入学者選抜の基本方針

編入学試験

個別試験（小論文）で「思考力・判断力」「知識・教養」「表現力」を評価します。個別試験（個人面接）で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。英語能力は英語能力試験の成績で評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

（注）「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

2. 募 集 人 員

看護学専攻 10人

3. 出 願 資 格

○看護学専攻を志願する者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学又は短期大学において看護関係学科を卒業した者又は令和8年3月までに卒業見込みの者で、注2に該当する者。
- (2) 専修学校の専門課程において看護関係学科を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者で、注1及び注2に該当する者

○放射線技術科学専攻を志願する者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 短期大学において診療放射線技術関係学科を卒業した者又は令和8年3月までに卒業見込みの者で、注3に該当する者
- (2) 専修学校の専門課程において診療放射線技術関係学科を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者で、注1及び注3に該当する者

○検査技術科学専攻を志願する者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 短期大学において臨床検査技術・衛生技術関係学科を卒業した者又は令和8年3月までに卒業見込みの者で、注4に該当する者
- (2) 専修学校の専門課程（修業年限が3年以上かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が

1700 時間以上であること。)において臨床検査技術・衛生技術関係学科を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者で、注4に該当する者
○志望する専攻が定める出願資格を満たす者で、かつ次のいずれかの英語試験の成績を修めた者

- ・ TOEIC (L&R) 500点以上
- ・ TOEFL iBT 40点以上
- ・ 実用英語技能検定 2級以上

(ただし、出願時点から遡って3年以内に受験したものであること。)

注1 専修学校の専門課程の修了者及び修了見込みの者とは、文部科学大臣が定める基準(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること。)を満たす課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者で、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者をいいます。

注2 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)第21条各号のいずれかに該当する者又は令和8年3月までに該当する見込みの者

注3 診療放射線技師法(昭和26年法律第226条)第20条第1号に該当する者又は令和8年3月までに該当する見込みの者

注4 臨床検査技師等に関する法律施行令(昭和33年政令第226号)第18条第3号(経過措置による改称前の「旧令」第2条第3号及び第20条第3号を含む。)に規定する厚生労働大臣の指定した科目を修得した者又は令和8年3月までに修得する見込みの者

4. 障がいのある入学志願者との事前相談

本学科に入学を志願する者で、身体に障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)がある者は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学科に相談してください。

なお、上記以外の者で配慮を必要とする者もあらかじめ本学科に相談してください。

(1) 相談の時期

令和7年10月8日(水)から令和7年10月10日(金)まで

(2) 相談の方法

相談は、次の事項を記載した書類(様式任意)及び健康診断書を提出してください。

また、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- ① 住所、氏名、連絡先
- ② 出身学校
- ③ 志望専攻
- ④ 障がいの種類・程度
- ⑤ 受験上配慮を希望する事項

- ⑥ 修学上配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた配慮
- ⑧ 日常生活の状況等

(3) 連絡先

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
 徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係
 電話番号 (088) 633-9009

5. 出願期間

令和7年10月17日(金)から令和7年10月24日(金)午後5時まで。
 郵送する場合は、簡易書留速達で期限内必着とします。
 持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。
 出願を受理した場合は「受験票」を送付します。

6. 出願手続

(1) 出願に必要な所定の用紙

- ① 募集要項は、医学部ホームページ <http://www.tokushima-u.ac.jp/med/admission/> からダウンロードしてください。
- ② 出願に必要な本学所定の用紙は、次のように請求してください。
 封筒の表に「編入学志願票請求」と朱書きし、返信用封筒(角型2号に郵便番号、住所氏名を明記し、180円分の切手を貼付のこと。)を同封して次の所に請求してください。
 〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
 徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

(2) 出願方法

志願者は、「出願に必要な書類等」を一括して、所定の封筒に入れ、出願期間内に提出してください。

(3) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願票	本学所定の用紙を使用し、必要事項を記入すること。
受験票・写真票 検定料納付用紙	本学所定の用紙を使用し、必要事項を記入すること。
検定料払込証明書	30,000円 本学所定の用紙を使用し、検定料払込証明書(出願用)を貼付すること。
専修学校専門課程の 修業年限及び課程 修了に要する総授業 時間数の証明書	本学所定の用紙により出身専修学校長が作成したもの。 (専修学校出身者以外は不要)
成績証明書	出身学校長が作成したもの。
卒業(見込)証明書	出身学校長が作成したもの。

英語能力の証明書	以下の試験等のいずれかの成績を証明する書類。（ただし、出願時点から遡って3年以内に受験したものであること。） ・TOEIC® Listening & Reading Test 500点以上（※1） ・TOEFL iBT® 40点以上（※2） ・実用英語技能検定 2級以上（※3）
受験票送付用封筒	本学所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、定形速達料金の切手（410円）を貼ったもの。
あて名票	合格通知書等送付用で受験者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

※1 公式認定証（Official Score Certificate）の原本またはデジタル公式認定証を印刷したものを提出してください。

※2 “Test Taker Score Report”（受験者用控えスコアレポート。本人宛に郵送される原本に限る。）を提出してください。

※3 合格証明書の原本を提出してください。

(4) 出願書類の提出先

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

電話番号 (088) 633-9009

(5) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ② 出願書類が本学科を受験する要件を満たしていない場合、受理しないことがあります。受理しない場合は、提出された書類は返却します。
- ③ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の返還はしません。
- ④ 出願書類に不正な事実があった場合は入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受験に際して受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 受験に際して課せられた試験科目は、すべて受験しなければ失格となります。
- ⑦ 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。
- ⑧ 試験開始から試験終了までは退室を認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

7. 入学者選抜の方法

入学者の選抜は、面接により行います。

8. 専攻別試験実施科目等

科目等 専攻名	面接
看護学専攻	○

○印は試験実施科目を示します。

面接

個人面接で行う。（専門的知識について質問をすることがあります。）

9. 配点

(点)

科目等 専攻名	面接	合計
看護学専攻	100	100

10. 試験期日及び場所

(1) 期 日 令和7年12月2日(火)

(2) 時 間

科目等 専攻名	面接
看護学専攻	9:30~

(3) 場 所

徳島大学医学部

11. 合格者発表

令和7年12月23日(火)午前10時

徳島大学医学部掲示板に合格者の受験番号を掲示、徳島大学医学部のHPに掲載するとともに、合格者には、合格通知書を送付します。

なお、電話等による可否の問合せには、一切応じられません。

12. 入学案内

(1) 医学部保健学科の概要

医学部保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻から成り、それぞれの専攻の教育課程を履修することにより、人間性、科学性及び国際性を基盤に高度化専門化する医療を支え、保健・医療・福祉において、多様化するニーズに対応できる人材を育成することを目的としています。

(2) 修業年限及び卒業の要件

3年次編入学生の修業年限は2年とします。卒業の要件は、2年以上在学し、入学時に認定された単位と併せて本学科所定の単位を修得しなければなりません。

(3) 教育課程及び履修方法

編入学した学生は、その個人の履修状況をもとに既修得単位の認定を受け、本学科当該専攻の卒業認定に必要な単位を修得できるよう学修を行います。

(4) 保健師養成教育の受講者選抜制の導入

平成29年度入学者（3年次編入については平成31年度入学者）から保健師養成教育の受講者選抜制を導入しています。詳細については、次のURLを参照ください。

https://www.tokushima-u.ac.jp/fs/9/8/0/7/6/_/20180501.pdf

(5) 入学手続及び必要経費

① 入学手続期間 入学手続きはWeb（UCARO）で行います。

令和8年2月11日（水）～ 令和8年2月18日（水）

② 必要経費

入学料 282,000円

入学料以外の納付金

学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等の経費（約60,000円）を納付することとなっています。

注1 既納の入学料は、返還しません。

注2 期間内に入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

注3 授業料の納付は、原則として口座振替により行います。詳細は合格通知の際に送付する説明書を熟読の上、所定の方法により手続を行ってください。なお、申し出により、前期分納入の際、窓口納付の場合は、後期分もまとめて納入することができます。

注4 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注5 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(6) 卒業時取得可能称号及び資格

○看護学専攻

学士（看護学）

保健師国家試験受験資格（必要な授業科目を選択履修した場合）

○放射線技術科学専攻

学士（保健学）

○検査技術科学専攻

学士（保健学）

13. 入学試験の成績の開示

受験者本人からの成績開示請求に基づき、本人の令和8年度入学試験の個人成績を郵送により開示します。

(1) 開示請求受付期間

令和8年5月1日（金）から令和8年5月29日（金）まで（土・日・祝日を除く。）
郵送・持参とも期間中に請求してください。

(2) 開示内容

受験者の個人成績

(3) 請求方法

下記の書類を同封し、下記宛先に申し込んでください。

徳島大学蔵本事務部 医学部学務課第二教務係
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
電話（088）633-9009

開示書類は、令和8年6月1日（月）以降に発送します。

① 入学試験情報開示請求書

本学部ホームページからダウンロードしてください。

② 本学部発行の受験票

③ 返信用封筒

本人住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手（簡易書留料金分）を貼付した長形3号【235mm×120mm】

※返信用封筒に定形外封筒を使用する等で郵便料金の不足が生じた場合は、送付できないことがありますので注意してください。

14. 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や教育が受けられない場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

詳細については、研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>